

独立行政法人 水資源機構 分任契約職
千葉県用水総合管理所長 土田 百合子
(公印省略)

見 積 依 頼 書

- 1 件 名 北総東部用水分水工管内清掃工事（オープンカウンター方式による）
- 2 工 事 場 所 千葉県香取市九美上22-173（北総中央第1分水工内）
- 3 工 期 契 約 締 結 の 翌 日 から 20日間
- 4 内 容 等 別途交付する仕様書等のとおり

記

- 1 現 場 説 明 実施しません。
- 2 見積参加要件 当機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者のうち、「土木一式工事」の認定を受けており、希望工種の「水路工事」に登録されている者であり、かつ、千葉県内に本店又は支店がある者。
- 3 見 積 書 等
 - 1) 様 式 等 見積書の様式は任意としますが、見積書には見積年月日並びに見積者の住所及び氏名（法人の場合は法人名及びその代表者名）を記載し、代表者の印章が押印されたものに限ります。ただし、押印は「本件責任者及び担当者」の氏名及び連絡先を明記することで省略することができます。
 - 2) 提出方法 電子メール（又はFAX）による。
なお、電子メール（又はFAX）に抛りがたい場合は、持参又は郵送（一般書留、簡易書留、その他配達の記録が残る方法に限る。）による。
 - 3) 見 積 書 提出期限 令和7年7月1日 10:00 まで
 - 4) 提 出 先 独立行政法人水資源機構千葉県用水総合管理所
電子メール nyukei_chiba@water.go.jp FAX番号 047-483-0709
 - 5) 担 当 者 経理課 浅沼
 - 6) 質 問 書 提出期限 令和7年6月24日 10:00 まで
 - 7) 見 積 日 時 見積提出期限到来後、遅滞なく実施する。見積参加者の立会は求めない。
 - 8) 見 積 回 数 2回を限度とする。なお、当初の見積徴取において予定価格の制限に達した価格の見積書がない場合の再度の見積書の提出については、見積書を提出した者あてに改めて連絡するものとし、再度の見積提出の期限は令和7年7月2日までとします。
 - 9) そ の 他 ①見積価格は、見積者が消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を見積書に記載してください。
②見積書を送信した後は、見積書の引き換え若しくは変更又は見積の取消しはできません。また、見積者は見積もり誤り、見積書の書き誤り等を理由に見積もりの無効を主張することはできません。
- 4 見 積 辞 退 見積依頼書等をダウンロードし、見積依頼書等の交付受領書を提出した後に見積もりを辞退する場合であっても、見積辞退届の提出の必要はありません。
- 5 見 積 結 果 見積結果については、契約の相手方として決定した者に対してのみ、原則として提出期限の翌営業日までに書面により通知します。
- 6 そ の 他
 - 1) 契約金額は、見積書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）とします。
 - 2) 請負代金の支払いについては、履行確認後（納品確認後）の一括支払となります。
 - 3) 最低金額を提出した見積者が複数ある場合は、「くじ」により契約の相手方を決定します。くじ用数値については、見積依頼書等の交付受領書に任意の3ケタの数字をご記入ください。

見積依頼書等の交付受領書

宛 先	独立行政法人水資源機構 千葉用水総合管理所 経理課 浅沼			
	電話番号	047-483-0722	FAX番号	047-483-0709
	メールアドレス	nyukei_chiba@water.go.jp		
発信者 (※必須)	(住所)			
	(会社名)			
	(担当者名)			
	電話番号		FAX番号	
	メールアドレス			

以下の件名について、見積依頼書等を受領しました。

○見積依頼件名

北総東部用水分水工管内清掃工事

○くじ用数値

くじ用数値とは、見積金額が複数社同額だった場合に使用する数値です。任意の3ケタの数字をご記入ください。

--	--	--

○見積辞退について

見積もりを辞退する場合であっても、見積辞退届の提出の必要はありません。

○同方式の承諾

「独立行政法人水資源機構千葉用水総合管理所におけるオープンカウンター実施説明書」の内容について、承諾する場合は、次のチェックボックスにチェックをお願いします。

☐ 承諾する

北総東部用水分水工管内清掃工事

仕 様 書

令和 7 年 6 月

独立行政法人水資源機構
千葉用水総合管理所

第 1 章 総 則

第 1 節 適 用

この仕様書は、北総東部用水分水工管内清掃工事(以下「本工事」という。)に適用する。

第 2 節 工事場所

千葉県香取市九美上 22-173（北総中央第 1 分水工内）

第 3 節 工事内容

本工事は、北総東部用水北総中央第1分水工の管内清掃を行うものである。

管内清掃工	1式
管内排水工	1式
付 帯 工	1式

第 4 節 工期等

契約締結の翌日から 20 日間とする。

第 5 節 工事数量

工事数量は、別添「工事数量総括表」のとおりである。

第 6 節 提出図書

受注者は、本工事の完成にあたって、以下の書類を提出するものとする。

- ①工事写真 1部
- ②その他、担当職員が必要と認めたもの 1部

第 2 章 本工事

第 1 節 管内清掃工

管内の清掃は、管内に堆積した土砂等を取り除き、ナイロンブラシ等で壁面を清掃するものとする。また、取り除いた土砂等は、返田揚水機場敷地内（千葉県香取市大根 2023）へ搬出（L=3.0 km以下）するものとする。なお、堆積土砂は 0.5m³ を見込んでいる。

第 2 節 管内排水工

管内清掃工にあたり、管内水を付帯工で取り外したフランジ蓋箇所から分水工敷地内の浸透枡へポンプ排水するものとする。

第 3 節 付帯工

- (1) 管内排水工にあたり、制水弁室工内への進入のため蓋（ステンレス縞鋼板製 t=3

mm)を取り外し、制水弁室工内のバタフライ弁(φ1350)を全閉操作するものとする。

また、流量調整弁室工内への進入のため蓋(ステンレス縞鋼板製)を取り外し、流量調整弁室工内のフランジ蓋(φ800 0.74MPa、空気弁・副弁・圧力計付)を取り外すものとする。

- (2) 管内清掃工が完了した後、担当職員に確認してフランジ蓋(φ800 0.74MPa、空気弁・副弁・圧力計付)を元の状態に戻し、担当職員による管内充水完了後、制水弁室工内のバタフライ弁(φ1350)を全開操作するものとする。

なお、漏水がないことを担当職員とともに確認後、各弁室の蓋(ステンレス縞鋼板製t=3mm)を元の状態に戻すものとする。

—以 上—

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名 北総東部用水分水工管内清掃工事

独立行政法人 水資源機構
千葉用水総合管理所（北総）

工事数量総括表

工事名	北総東部用水分水工管内清掃工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
管水路(開削工法)		式		1		
管内清掃工		式		1		
管内清掃工		式		1		
管内清掃	φ 1350mm L=20.25m	式		1		堆積土砂 0.5m3搬出を含む。
管内排水工		式		1		
管内排水工		式		1		
ポンプ設置撤去		箇所		1		
ポンプ運転		箇所		1		1日運転
付帯工		式		1		
付帯工		式		1		
蓋取り外し復旧	ステンレス縞鋼板製 t=3mm	箇所		3		

工事数量総括表

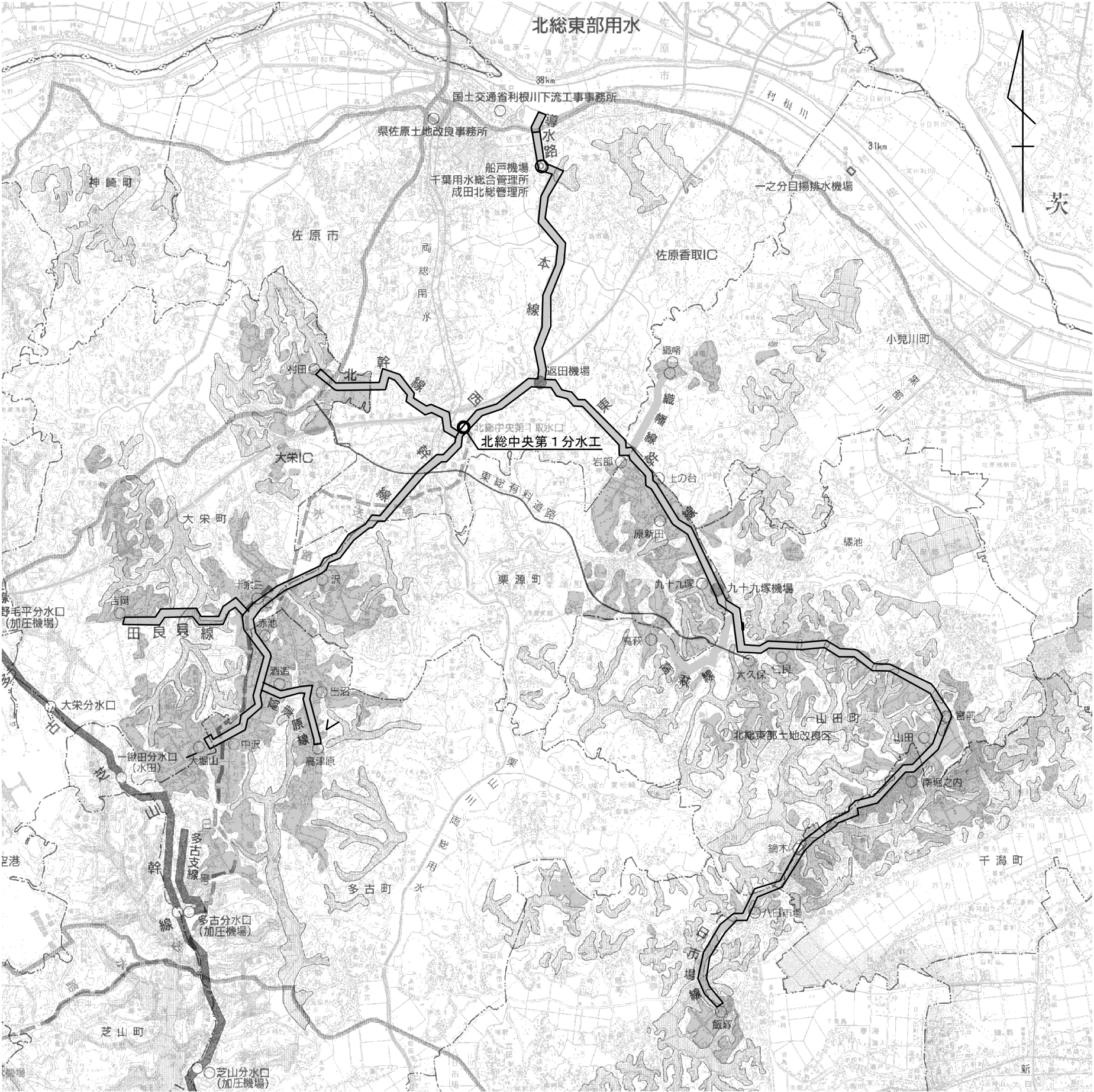
工事名	北総東部用分水工管内清掃工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
フランジ蓋取り外し復旧	φ 800 0.74MPa 空気弁、副弁、圧力計付	箇所		1		
バタフライ弁操作	φ 1350mm 全開～全閉、全閉～全開	箇所		1		
管内換気		式		1		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費 (率計上)		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		

工事数量総括表

工事名	北総東部用水分水工管内清掃工事						(当 初)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要	
消費税相当額		式		1			
工事費計		式		1			

位置図

縮尺なし



注 意 事 項

- 1. 適用
この図面は北総東部用水分水工管内清掃工事に適用する。
- 2. 単位
測点標高は、m単位で示し、構造寸法は、特に示さない限りmm単位で示す。

工 事 名 北総東部用水分水工管内清掃工事

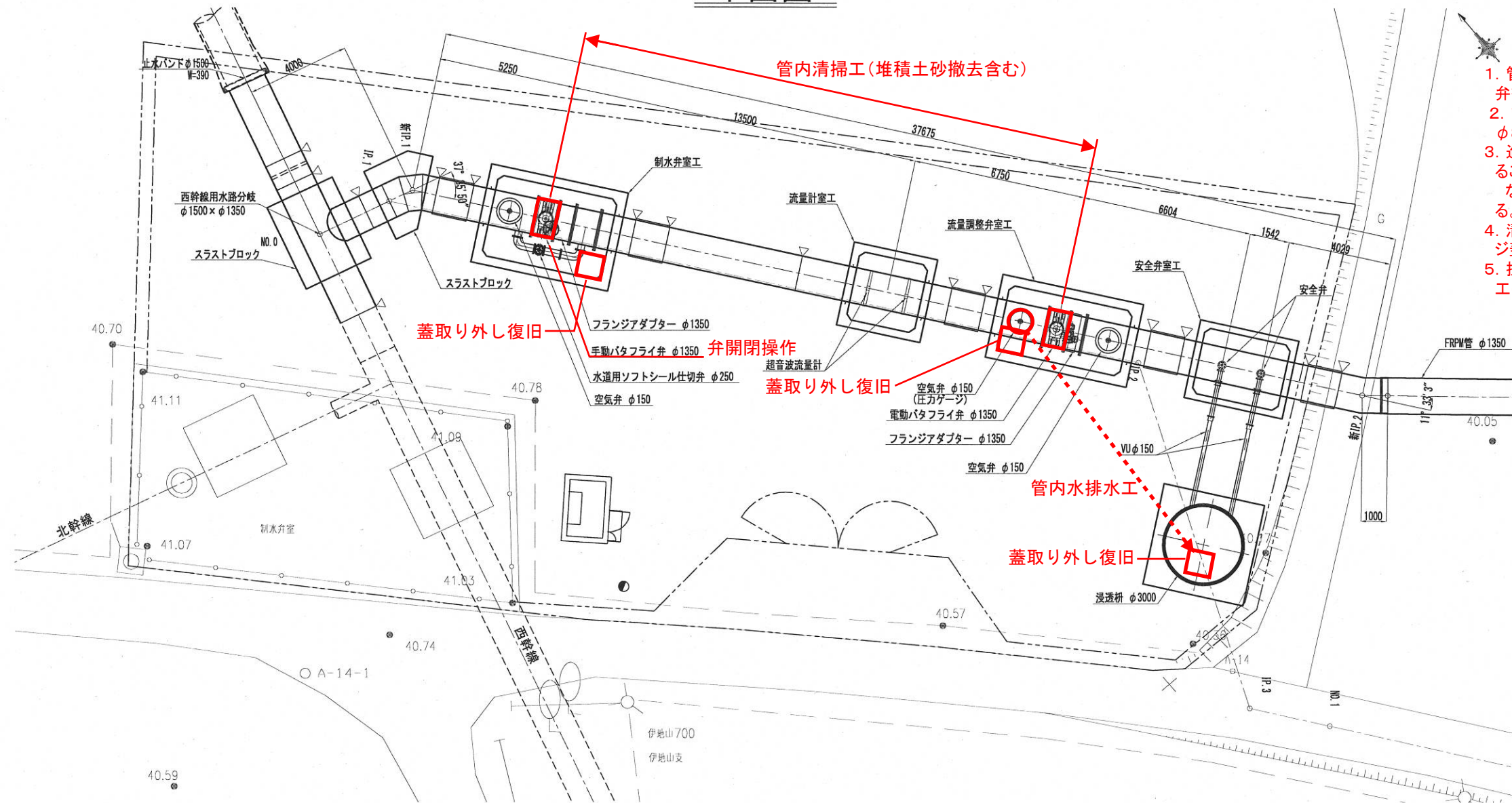
名 称
位 置 図

独立行政法人 水資源機構 千葉用水総合管理所

第1取水口一般図

S=1:100

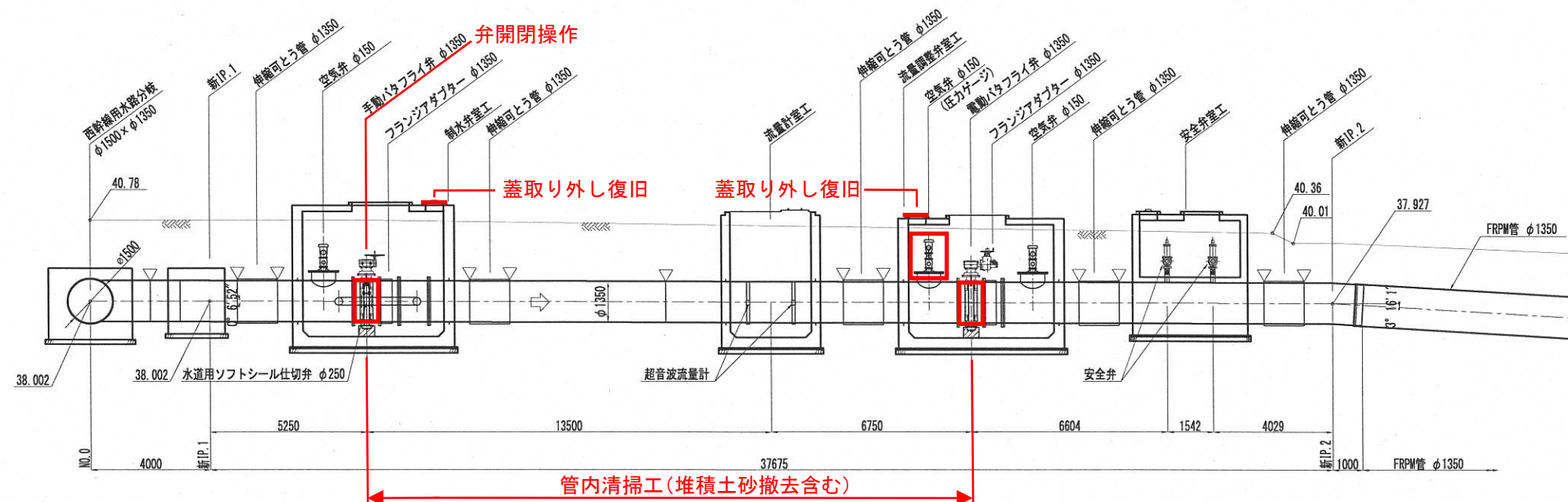
平面図



注意事項

1. 管内清掃工は、制水弁室工のバタフライ弁を全閉操作後に実施する。
2. 管内には、流量調整弁室工のフランジ蓋φ800を取り外し進入する。
3. 進入にあたっては、管内が充水されていることから、ポンプ排水を行うこと。
なお、排水先は場内の浸透枦φ3000とする。
4. 清掃完了後は、担当職員に確認しフランジ蓋を復旧する。
5. 担当職員が管内に充水した後、制水弁室工のバタフライ弁を全開操作する。

縦断面図

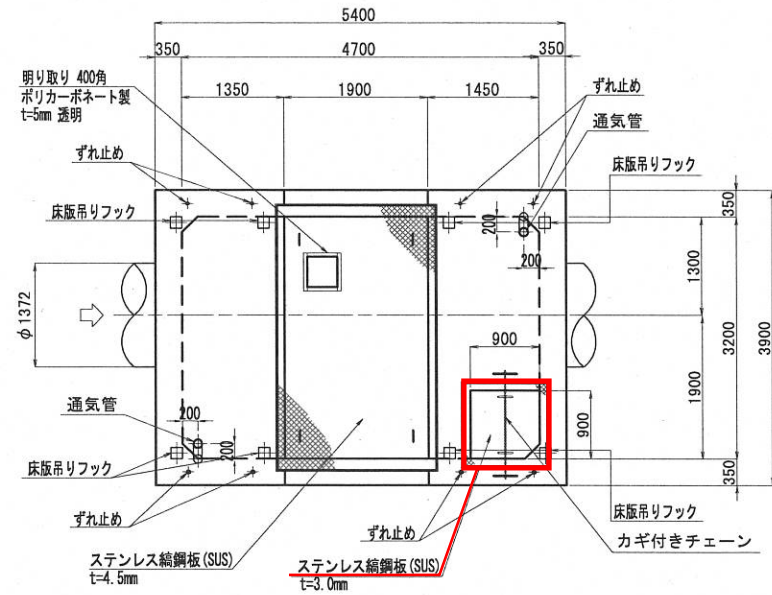


工事名	北総中央農業水利事業 1号送水路工事(第1回変更)		
図面名	第1取水口一般図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	2
会社名			
事業所名	関東農政局北総中央農業水利事業所		

制水弁室工構造図(1)

頂版平面図

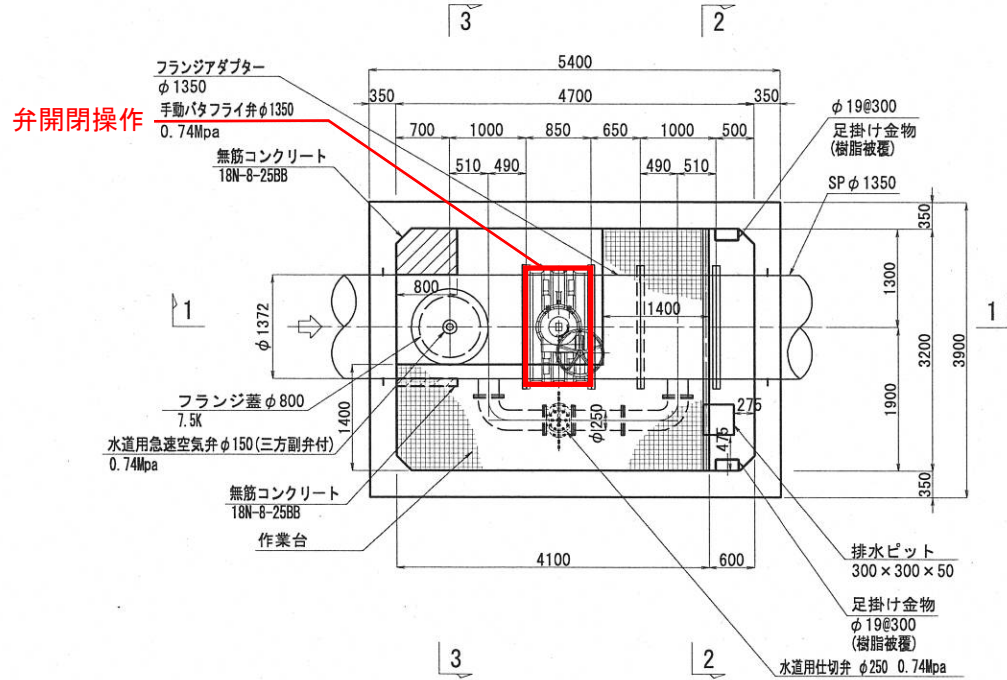
S=1:50



蓋取り外し復旧

平面図

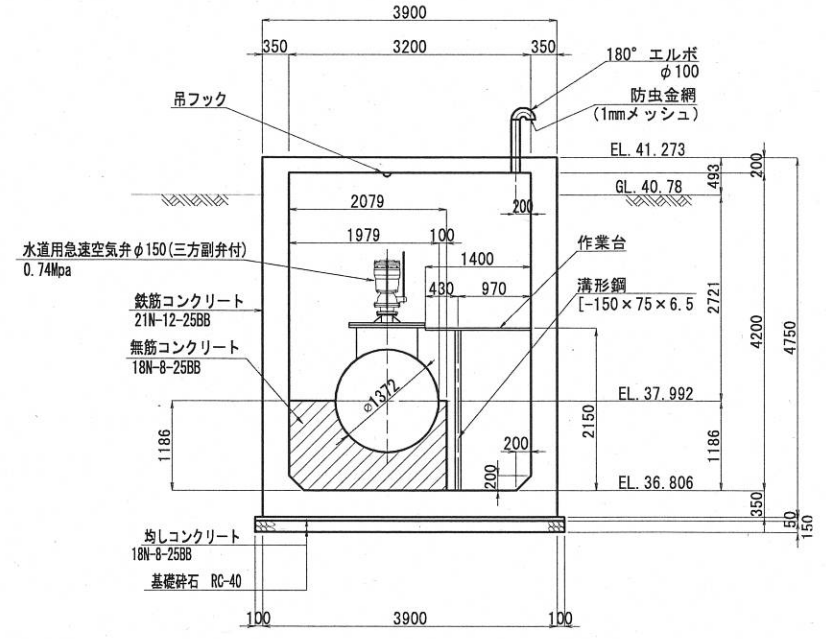
S=1:50



弁開閉操作

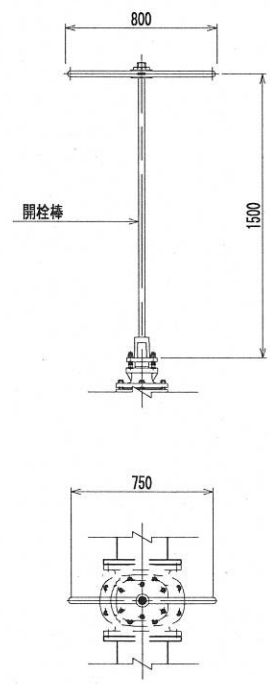
3-3

S=1:50



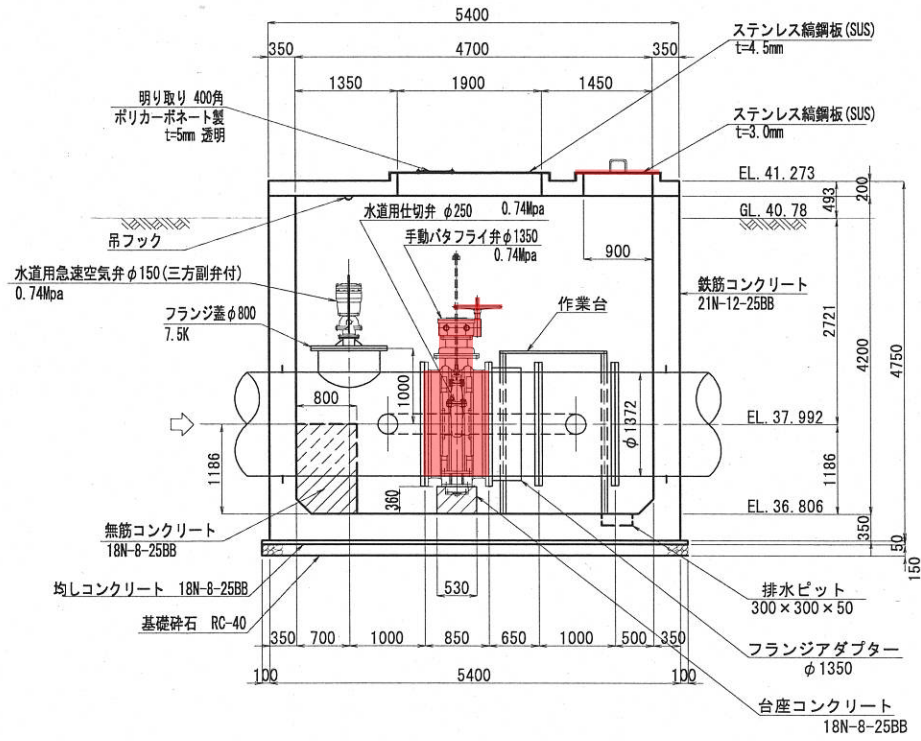
弁用スピンドルハンドル詳細図

S=1:20



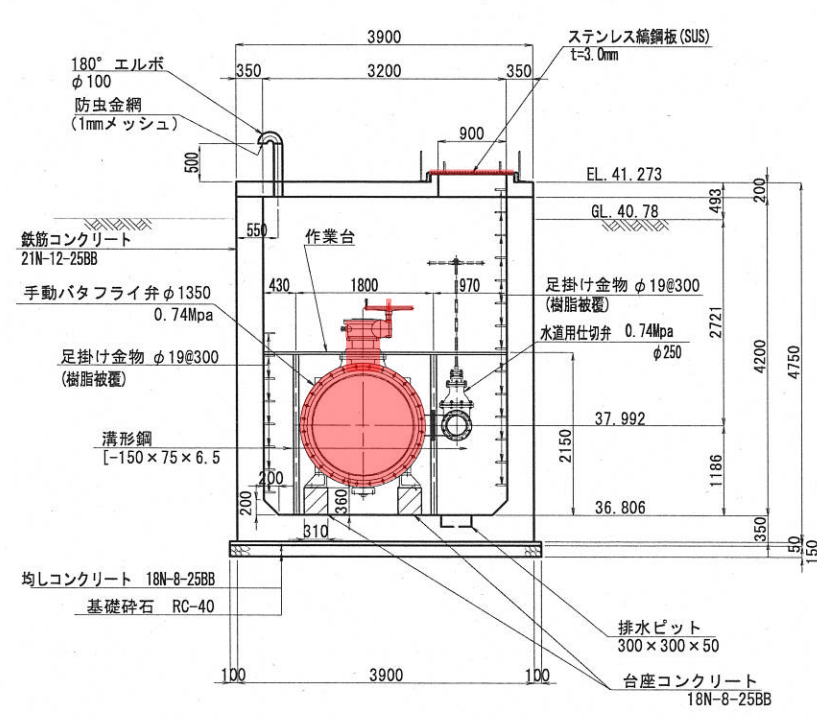
1-1

S=1:50



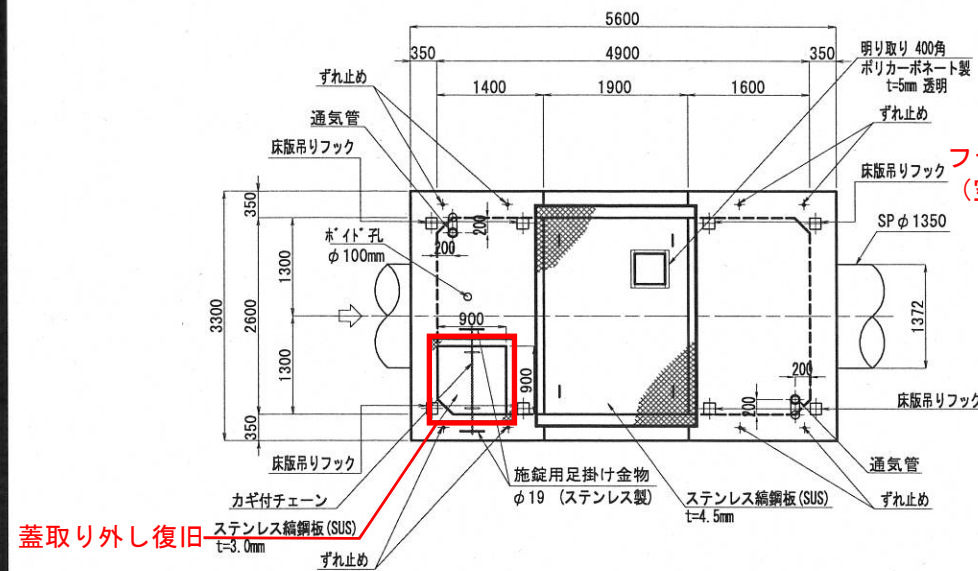
2-2

S=1:50

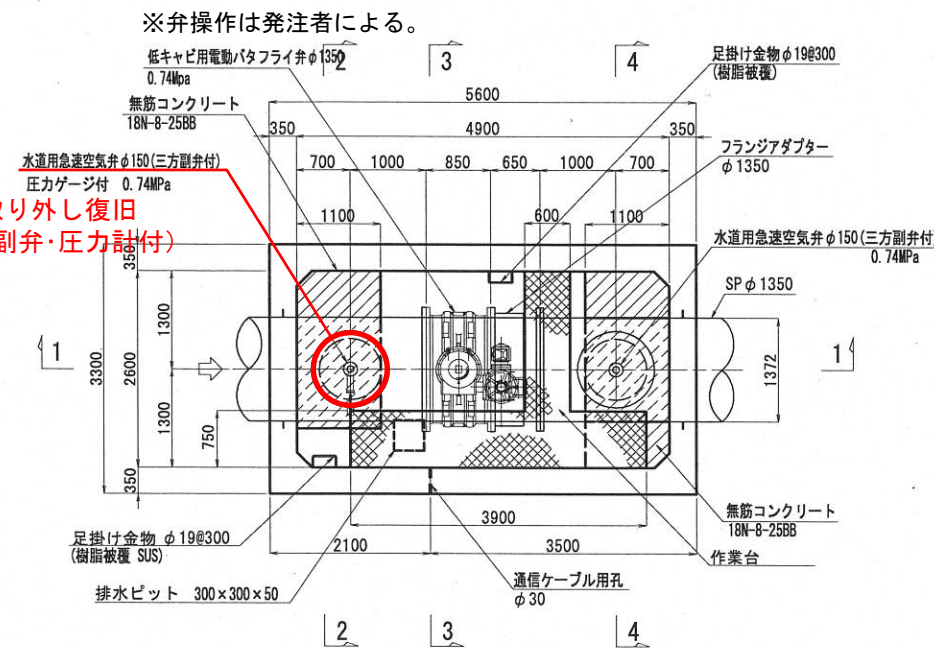


流量調整弁室工構造図(1)

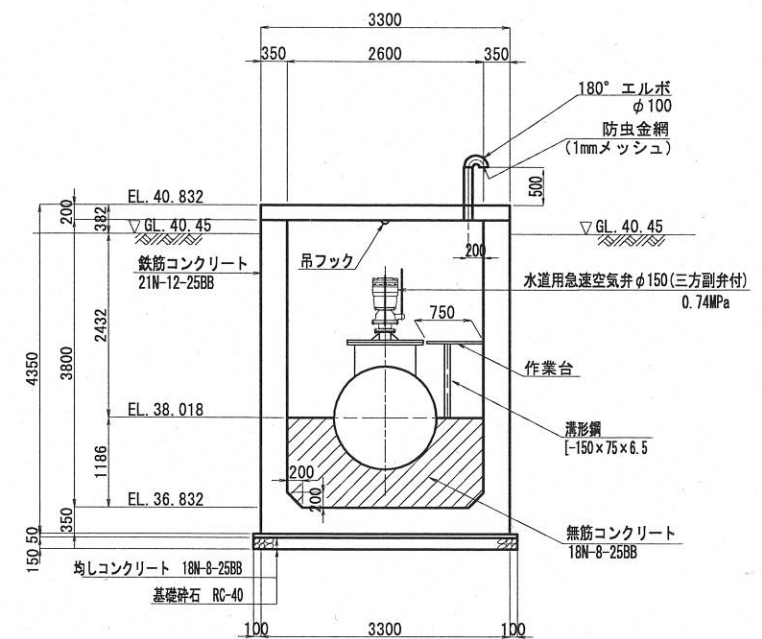
頂版平面図 S=1:50



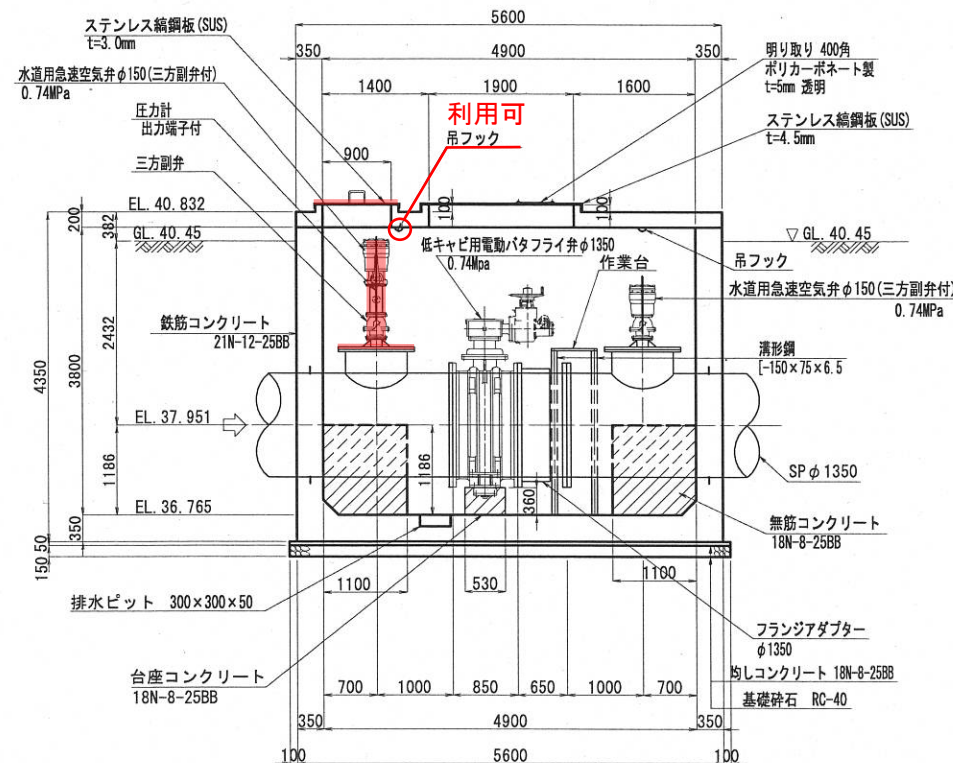
平面図 S=1:50



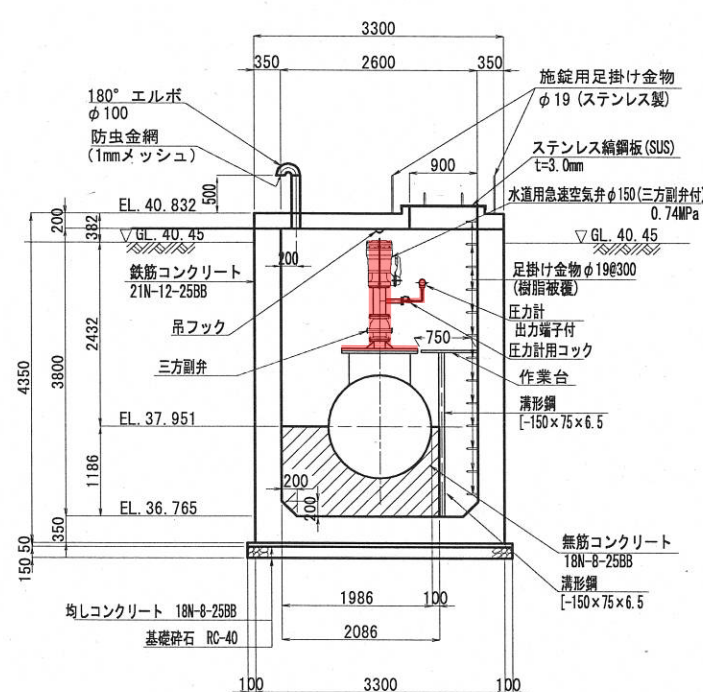
4-4 S=1:50



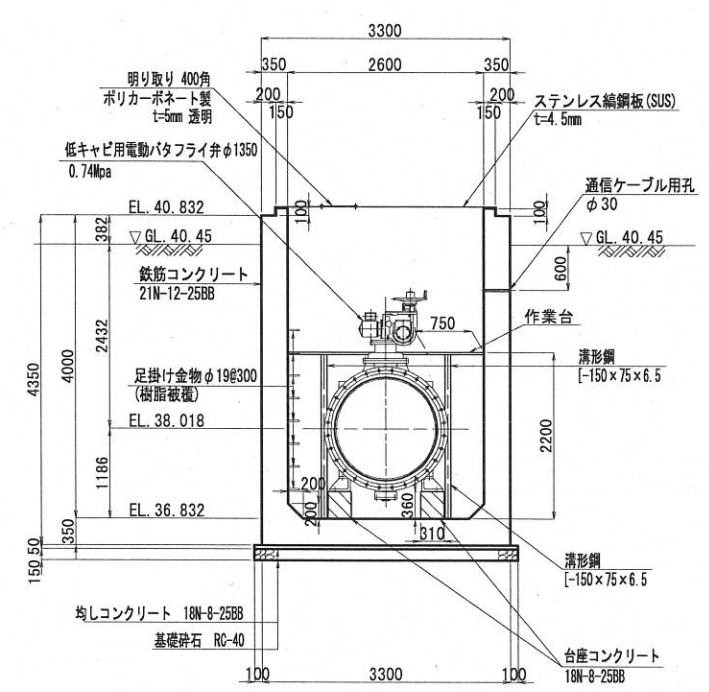
1-1 S=1:50



2-2 S=1:50



3-3 S=1:50



工事名	北総中央農業水利事業 1号送水路工事 (第1回変更)		
図面名	流量調整弁室工構造図(1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	10-1/2
会社名			
事業所名	関東農政局北総中央農業水利事業所		